

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2024 年 第 22 週（5 月 27 日～6 月 2 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	2 人 類型 患者 1 人、 無症状病原体保有者 1 人 血清型 O157 1 人、O26 1 人
四類感染症 E 型肝炎	1 人 推定感染地域 国内
レジオネラ症	5 人 病型 肺炎型 5 人
五類感染症 アメーバ赤痢	1 人 病型 腸管アメーバ症
加パ ^ハ 耐性腸内細菌目細菌感染症	4 人 菌種 <i>Enterobacter</i> sp 2 人、 <i>Serratia</i> sp 1 人、 <i>Escherichia</i> sp 1 人
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 人 血清群 A 群 1 人、G 群 1 人
後天性免疫不全症候群	2 人 病型 AIDS 1 人、 無症状病原体保有者 1 人
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 人
侵襲性肺炎球菌感染症	3 人
梅毒	8 人 病型 早期顕症Ⅰ期 4 人、 早期顕症Ⅱ期 3 人、 無症状病原体保有者 1 人
播種性クリプトコックス症	1 人

< 定点把握対象疾患の患者情報 >

新型コロナウイルス感染症 (3. 78→4. 29: 図 1) の定点当たり報告数は、前週よりわずかに増加し、第 19 週以降緩やかな増加傾向にある。保健所別では、幸手 (6. 71)、狭山 (6. 56)、坂戸 (6. 30)、草加 (6. 06)、鴻巣 (6. 05) 保健所管内からの報告が多い。基幹定点における入院患者の報告は 43 人 (前週 35 人) であった。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (5. 35→5. 14: 図 2-1, 2) の定点当たり報告数は、前週よりわずかに減少したものの、依然として高い水準にある。保健所別では、春日部 (15. 50)、幸手 (9. 78) 保健所管内からの報告が引き続き多い。手足口病 (1. 09→1. 47: 図 3-1, 2) の定点当たり報告数は、前週より増加し、過去 4 年の同じ週と比較して高い状況にある。保健所別では、本庄 (5. 00) 保健所管内からの報告が非常に多く、熊谷 (3. 13)、幸手 (2. 78) 保健所管内からの報告が多い。RS ウイルス感染症 (1. 32→1. 20: 図 4) の定点当たり報告数は、3 月下旬以降やや高い状況で推移している。保健所別では、前週に引き続き南部 (5. 80) 保健所管内からの報告が最も多く、続いて幸手 (2. 78) 保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 8 人、流行性角結膜炎 44 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、マイコプラズマ肺炎 1 人、感染性胃腸炎 (ロタウイルス) 1 人、インフルエンザ (入院) 2 人の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ

(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) で御覧いただけます。

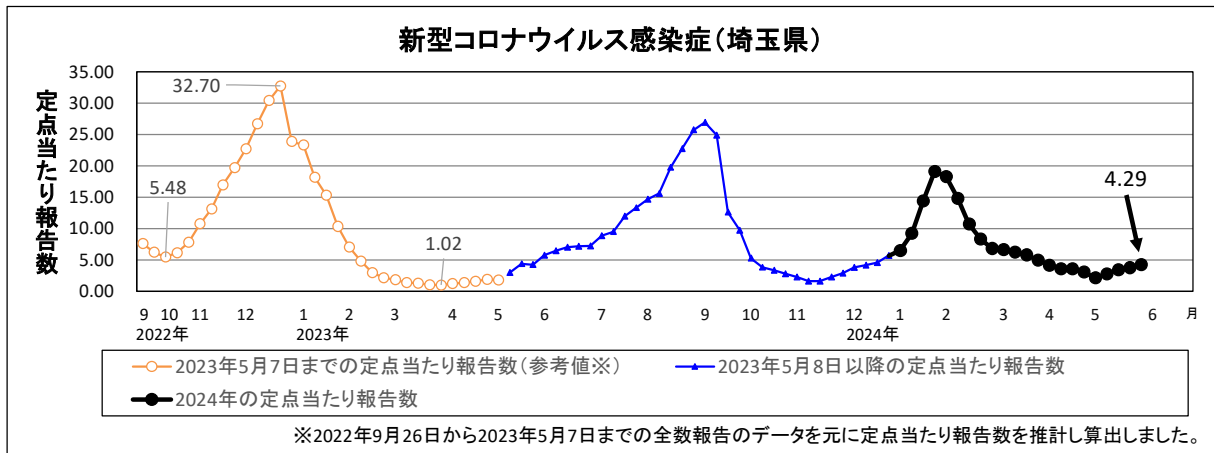
埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当

TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613 e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp

URL: <https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/>

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第22週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2-1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数の推移

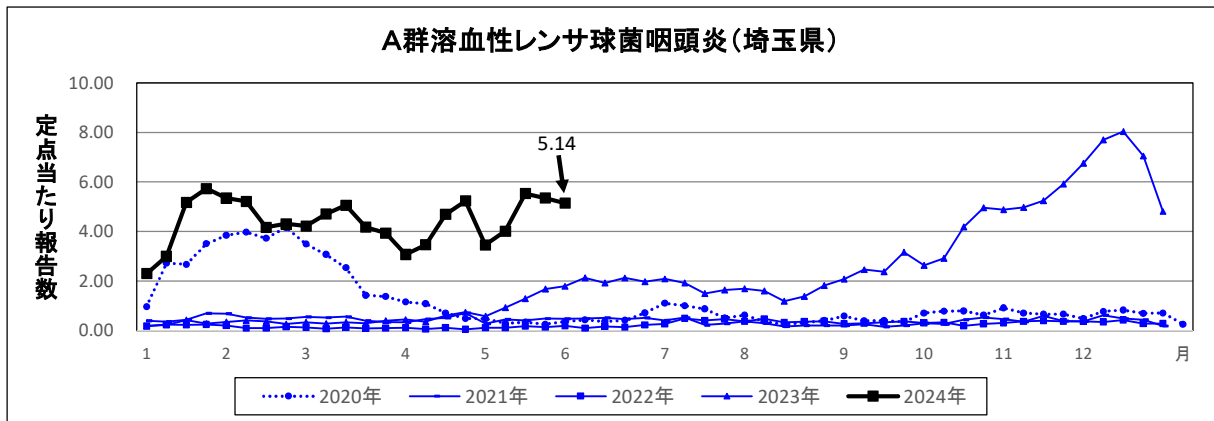
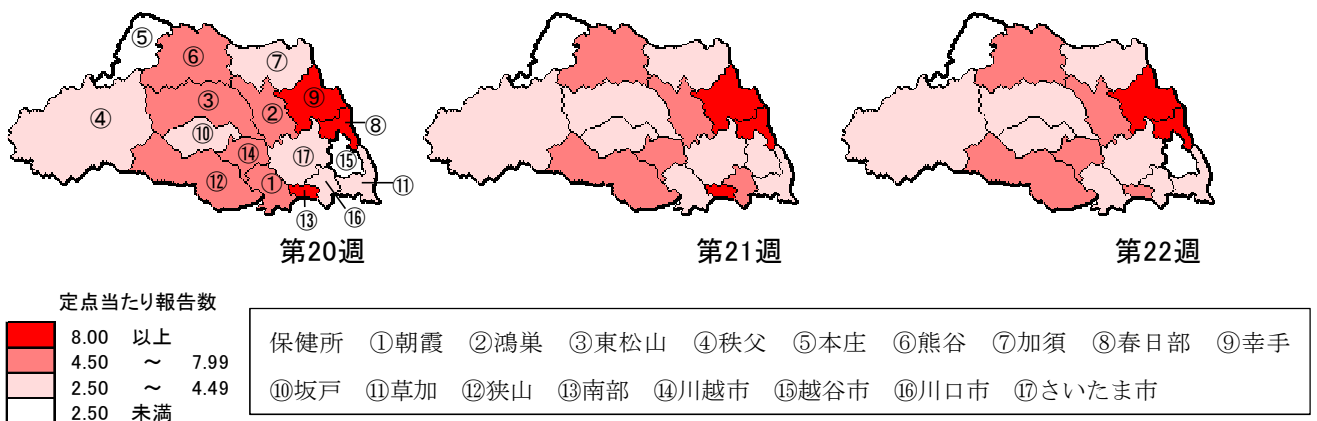


図2-2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の保健所別流行状況の推移（2024年第20週～第22週）



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第22週)

(2024年6月4日 15:15集計)

	今週届出	累計		今週届出	累計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢			パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	2	48			
四類感染症					
E型肝炎	1	18	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		4	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		1
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサナル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	5	40
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		3	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢	1	12	侵襲性肺炎球菌感染症	3	43
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		4	水痘(入院例に限る)		
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4	32	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			梅毒	8	172
急性脳炎		10	播種性クリプトコックス症	1	6
クリプトスポリジウム症			破傷風		1
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	64	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	2	14	百日咳		20
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	9	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第22週

5月27日~6月2日)

保 健 所	報告数 #1	インフル エンザ	新型 コロナ ウイル ス感 染症	R S ウ ィ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パ ン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎 #2	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	クラ ミ ジ ア 肺 炎 #3	感 染 性 胃 腸 炎 (ロ タ ウ ィ ル ス)	イ ン フ ル エ ン ザ (入 院)	新 型 コ ロ ナ ウ ィ ル ス 感 染 症 (入 院)
全 県	45	1,115	197	135	843	863	47	241	20	71	50	22	8	44	-	-	1	-	1	2	43	
	0.17	4.29	1.20	0.82	5.14	5.26	0.29	1.47	0.12	0.43	0.30	0.13	0.19	1.05	-	-	0.08	-	0.08	0.17	3.58	
朝 霞	5	92	18	6	64	104	3	18	-	4	3	1	1	5	-	-	-	-	-	-	9	
	0.22	4.00	1.20	0.40	4.27	6.93	0.20	1.20	-	0.27	0.20	0.07	0.25	1.25	-	-	-	-	-	-	9.00	
鴻 巣	4	115	4	26	75	57	-	20	-	1	5	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	0.21	6.05	0.33	2.17	6.25	4.75	-	1.67	-	0.08	0.42	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
東 松 山	1	24	3	2	20	32	-	1	-	4	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	2	
	0.13	3.00	0.60	0.40	4.00	6.40	-	0.20	-	0.80	-	0.40	-	3.00	-	-	-	-	-	-	2.00	
秩 父	-	11	2	2	8	1	-	2	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	1	
	-	2.20	0.67	0.67	2.67	0.33	-	0.67	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	1.00	
本 庄	-	9	2	3	5	-	4	20	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
	-	1.29	0.50	0.75	1.25	-	1.00	5.00	-	0.25	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00	
熊 谷	7	43	-	6	60	54	1	25	1	3	6	1	3	-	-	-	-	-	-	-	6	
	0.54	3.31	-	0.75	7.50	6.75	0.13	3.13	0.13	0.38	0.75	0.13	-	1.50	-	-	-	-	-	-	6.00	
加 須	1	36	4	3	16	8	2	3	-	2	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	
	0.10	3.60	0.67	0.50	2.67	1.33	0.33	0.50	-	0.33	0.17	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-	2.00	
春 日 部	-	30	11	12	93	56	1	11	-	4	-	2	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	-	3.00	1.83	2.00	15.50	9.33	0.17	1.83	-	0.67	-	0.33	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
幸 手	3	94	25	9	88	27	4	25	-	2	1	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	0.21	6.71	2.78	1.00	9.78	3.00	0.44	2.78	-	0.22	0.11	0.11	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
坂 戸	1	63	-	-	26	56	-	4	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	0.10	6.30	-	-	4.33	9.33	-	0.67	0.17	-	0.17	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00	
草 加	3	109	5	7	45	57	1	9	6	7	3	2	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	0.17	6.06	0.42	0.58	3.75	4.75	0.08	0.75	0.50	0.58	0.25	0.17	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
狭 山	2	164	32	21	98	44	4	17	2	8	-	3	7	2	-	-	-	-	1	1	1	
	0.08	6.56	2.00	1.31	6.13	2.75	0.25	1.06	0.13	0.50	-	0.19	1.40	0.40	-	-	-	-	1.00	1.00	1.00	
南 部	1	31	29	4	37	40	2	4	-	5	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	7	
	0.13	3.88	5.80	0.80	7.40	8.00	0.40	0.80	-	1.00	0.20	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	7.00	
川 越 市	1	43	2	2	44	23	6	5	-	5	2	1	-	4	*	*	*	*	*	*	*	
	0.07	3.07	0.25	0.25	5.50	2.88	0.75	0.63	-	0.63	0.25	0.13	-	2.00	*	*	*	*	*	*	*	
越 谷 市	-	64	6	6	12	38	5	5	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
	-	4.92	0.75	0.75	1.50	4.75	0.63	0.63	-	0.38	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00	
川 口 市	13	85	20	10	49	103	1	31	5	5	17	4	-	10	-	-	-	-	-	1	2	
	0.65	4.25	1.54	0.77	3.77	7.92	0.08	2.38	0.38	0.38	1.31	0.31	-	2.50	-	-	-	-	-	1.00	2.00	
さいたま市	3	102	34	16	103	163	13	41	5	17	5	4	-	15	-	-	-	-	-	-	5	
	0.07	2.37	1.21	0.57	3.68	5.82	0.46	1.46	0.18	0.61	0.18	0.14	-	1.67	-	-	-	-	-	-	5.00	

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

6月 4日 14:30 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2024年第22週 5月27日～6月2日)

	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ #1	45	1	1	1	2	-	-	1	1	-	3	1	12	5	1	3	2	4	6	1	-	
新型コロナウイルス感染症	1,115	6	11	17	10	5	6	4	4	7	11	2	63	71	158	133	127	163	105	121	91	
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～							
RSウイルス感染症	197	28	41	55	29	27	8	6	2	1	-	-	-	-	-							
咽頭結膜熱	135	-	19	37	14	18	19	8	4	6	5	-	5	-	-							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	843	1	7	40	46	73	76	87	91	90	85	66	131	8	42							
感染性胃腸炎	863	7	57	87	68	85	86	88	74	72	59	36	92	16	36							
水痘	47	-	1	4	3	-	1	2	8	4	8	8	8	-	-							
手足口病	241	2	26	94	58	21	10	13	5	6	-	5	1	-	-							
伝染性紅斑	20	-	-	2	4	4	2	1	2	4	-	-	1	-	-							
突発性発しん	71	1	11	46	10	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ	50	-	4	14	10	8	3	6	2	2	-	-	1	-	-							
流行性耳下腺炎	22	-	-	1	2	6	2	3	3	2	-	3	-	-	-							
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～		
急性出血性結膜炎	8	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	2	1	-	2	-		
流行性角結膜炎	44	-	-	-	2	2	3	1	2	3	1	-	2	-	3	12	3	6	3	1		
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～					
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
マイコプラズマ肺炎	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
ロタウイルス感染症	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
インフルエンザ(入院)	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1				
新型コロナウイルス感染症(入院)	43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	1	37					

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第20週 (5月13日～5月19日)

令和6年6月5日

<全国情報>

インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患: インフルエンザの定点当たり報告数は第12週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.60)、茨城県(1.13)、鳥取県(1.03)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は23例と前週と比較して減少した。都道府県別では13都道府県から報告があり、年齢別では1～9歳(4例)、10代(1例)、20代(1例)、40代(1例)、60代(1例)、70代(5例)、80歳以上(10例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(13.43)、北海道(5.30)、鹿児島県(4.73)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,323例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(28例)、1～9歳(32例)、10代(12例)、20代(13例)、30代(19例)、40代(33例)、50代(76例)、60代(140例)、70代(319例)、80歳以上(651例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は山口県(4.00)、和歌山県(3.50)、福井県(3.08)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は岩手県(2.15)、鹿児島県(1.84)、富山県(1.72)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山形県(11.50)、鳥取県(10.68)、北海道(8.25)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は大分県(10.64)、富山県(8.83)、石川県(8.59)である。手足口病の定点当たり報告数は第13週以降増加が続いており、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は大分県(7.81)、福井県(7.64)、愛媛県(7.38)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は山形県(0.14)、大分県(0.14)、和歌山県(0.13)である。

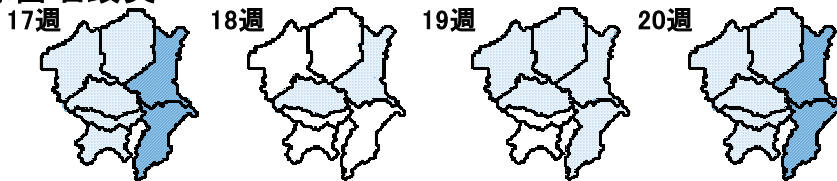
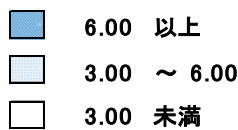
基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は青森県(1.17)、福井県(1.00)、沖縄県(1.00)、香川県(0.80)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。6都道府県から8例報告があり、年齢別では0歳(1例)、1～4歳(3例)、5～9歳(1例)、10代(2例)、20代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年第20週(5月13日～5月19日): 通巻第26巻 第20号 より

<関東情報>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、茨城県(6.72)、千葉県(6.62)からの報告が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



2024年 20週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	421	135	11	25	77	55	73	45
	定点当たり	0.28	0.27	1.13	0.14	0.29	0.30	0.27	0.17
新型コロナウイルス感染症	報告数	5,045	425	282	242	902	810	1,164	1,220
	定点当たり	3.28	3.29	3.54	3.71	2.85	3.46	4.01	2.78
RSウイルス感染症	報告数	1,012	51	42	47	216	107	320	229
	定点当たり	1.38	0.68	0.68	0.90	1.32	0.86	1.21	0.99
咽頭結膜熱	報告数	523	57	22	60	115	43	122	104
	定点当たり	0.71	0.55	0.76	0.46	1.15	0.70	0.34	0.46
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	4,561	504	246	283	906	827	1,033	762
	定点当たり	4.91	4.76	6.72	5.13	5.44	6.62	3.91	3.30
感染性胃腸炎	報告数	4,247	174	87	268	851	643	1,317	907
	定点当たり	4.77	4.43	2.32	1.81	5.15	5.19	5.14	4.99
水痘	報告数	171	3	4	5	35	32	52	40
	定点当たり	0.16	0.18	0.04	0.08	0.10	0.21	0.26	0.20
手足口病	報告数	831	23	52	347	85	85	140	99
	定点当たり	1.49	0.87	0.31	1.08	0.52	0.68	0.53	0.43
伝染性紅斑	報告数	112	1	2	-	18	4	70	17
	定点当たり	0.04	0.12	0.01	0.04	0.11	0.03	0.27	0.07
突発性発しん	報告数	278	24	18	19	45	38	68	66
	定点当たり	0.32	0.29	0.32	0.38	0.37	0.27	0.30	0.26
ヘルパンギーナ	報告数	139	5	2	51	19	9	31	22
	定点当たり	0.23	0.14	0.07	0.04	0.98	0.12	0.07	0.12
流行性耳下腺炎	報告数	79	5	2	3	20	12	15	22
	定点当たり	0.06	0.08	0.07	0.04	0.06	0.12	0.10	0.06
急性出血性結膜炎	報告数	9	-	-	1	5	2	1	-
	定点当たり	0.02	0.04	-	0.07	0.12	0.06	0.03	-
流行性角結膜炎	報告数	238	44	4	3	45	22	19	101
	定点当たり	0.72	1.14	2.59	0.33	0.21	1.07	0.65	0.49
細菌性髄膜炎 #2	報告数	1	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.08
無菌性髄膜炎	報告数	3	-	1	-	-	-	-	2
	定点当たり	0.04	0.03	0.14	-	-	-	-	0.17
マイコプラズマ肺炎	報告数	7	-	-	-	3	1	3	-
	定点当たり	0.17	0.08	-	-	0.25	0.11	0.12	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	1	1	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.00	0.01	-	-	-	-	0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	3	-	2	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.02	0.03	0.29	-	-	-	0.04	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

2023/2024 シーズンのインフルエンザ

2023/2024 シーズンは定点当たり報告数が1.00を上回った状況で始まりました（図1 中折れ線グラフ）。シーズン開始時の2023年第36週（9月4日～10日）には既に定点当たり報告数は5.94であり、翌第37週には注意報レベルの10.00を、第43週には警報レベルの30.00を上回り、その翌週（第44週）に今シーズン最も大きな定点当たり報告数（34.84）となりました。その後定点当たり報告数は一旦は減少したものの、第49週に2度目のピーク、更に年明けの2024年第6週に3度目のピークを迎えた後、徐々に減少し、2024年第17週（4月22日～28日）に1.00を下回り流行期が終了しました。

今シーズン病原体定点で採取された検体から検出されたインフルエンザウイルスのうちA型はAH3が460件、AH1pdm09が231件、A亜型不明が2件、B型はBビクトリア系統が210件で、B山形系統は検出されていません（2024年5月31日現在）。シーズン開始時から2023年内にかけてはAH3とAH1pdm09が混在していましたが、2024年になるとBビクトリア系統が増加しはじめ、第4週以降はBビクトリア系統が半数以上を占めるようになりました（図1 中棒グラフ）。3度目のピークはBビクトリア系統の流行によるものと考えられました。

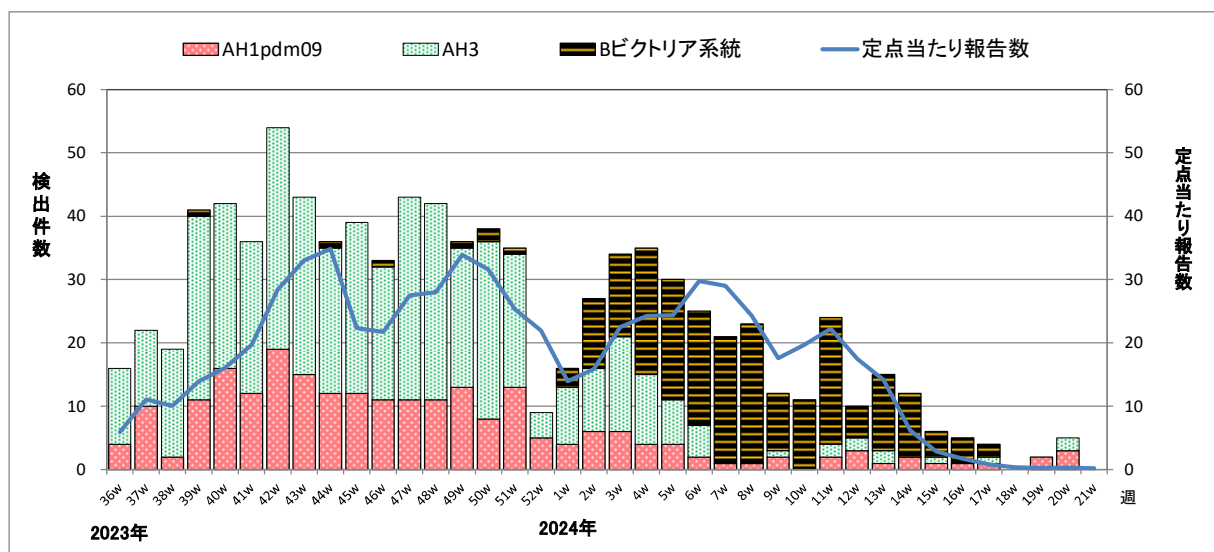


図1 インフルエンザの定点当たり報告数とウイルス検出状況（2023/2024シーズン）

今シーズンは3つの亜型が混在しており、この検出状況は2018/2019シーズン（図2）に類似していましたが、定点当たり報告数の動向は、明瞭な一峰性でなかった点、また流行の後期においても定点当たり報告数が多い状況が継続していた点で、過去に類を見ない推移となりました。

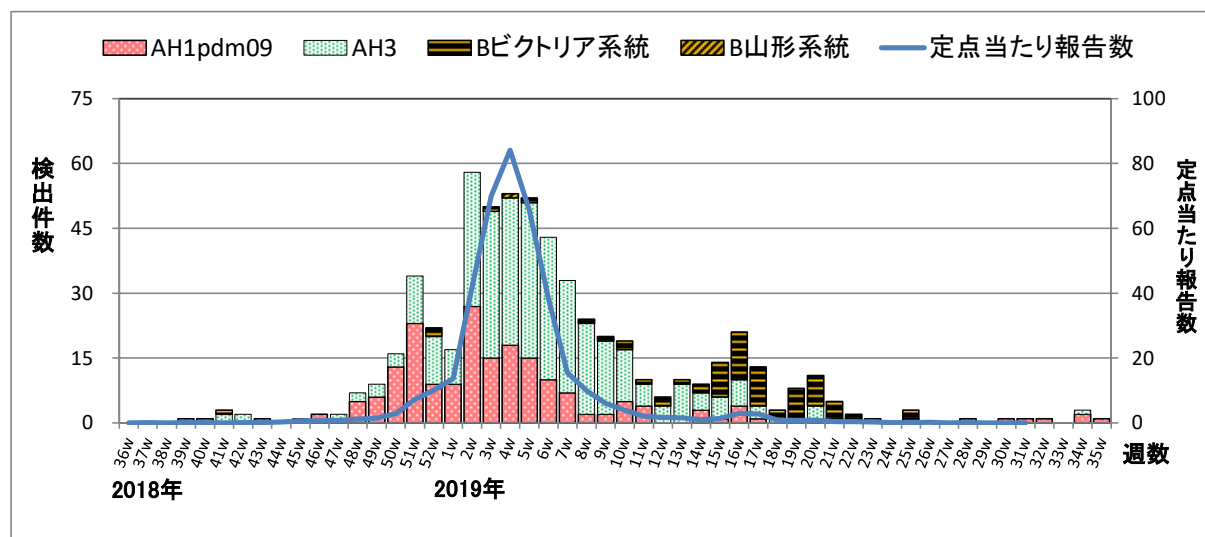


図2 インフルエンザの定点当たり報告数とウイルス検出状況（2018/2019シーズン）

週別、患者年齢階級別のインフルエンザウイルス型別検出数等の詳細は、県感染症情報センターのホームページ（<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/srv-flu.html>）に最新情報を掲載しています。

病原体定点医療機関の先生方には引き続き検体採取へのご協力をお願いします。

感染症発生動向調査
2024年

▶ 感染症の流行状況
2024年 第1週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第2週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第3週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第4週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第5週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第6週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第7週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第8週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第9週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第10週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第11週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第12週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第13週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第14週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第15週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第16週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第17週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第18週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第19週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第20週

▶ 感染症の流行状況
2024年 第21週

感染症の流行状況 2024年 第22週

2024年第22週（5月27日～6月2日）の要点

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎](#)の定点当たり報告数は、前週よりわずかに減少したものの、依然として高い水準にあります。

[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	手足口病	↑	★★
新型コロナウイルス感染症	↑	—	伝染性紅斑（りんご病）	→	★
RSウイルス感染症	→	★★	突発性発疹	→	★
咽頭結膜熱（プール熱）	→	★★	ヘルパンギーナ	↑	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	★★★★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
感染性胃腸炎	→	★	急性出血性結膜炎	↓	★★
水痘（みずぼうそう）	→	★	流行性角結膜炎	→	★★★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい←★、★★、★★★★→大きい）

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン